

神戸市感染症発生動向調査週報

平成30年5月24日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,
設置定点数 48 ケ所 北8, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8

第 21 週

平成30年5月21日 ~

平成30年5月27日

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ		1								1																1				

小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,
設置定点数 31 ケ所 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~						
RSウイルス感染症							1	3		4		4																		
咽頭結膜熱	2	1	1			1	2	7	1	15		1	6	3	3	2														
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	9	2		7		8	10	14	58			2	3	14	8	7	5	3	3	2	7	1	3						
感染性胃腸炎	22	3	12	9	41	6	28	49	18	188	1	9	23	21	16	18	19	14	7	14	7	14	3	22						
水痘			2				1	2	4	9			2	1	3						3									
手足口病	1				1					2			1								1									
伝染性紅斑										0																				
突発性発疹	3		2	1	1	2	4	5	2	20		8	9	2	1															
ヘルパンギーナ									1	1			1																	
流行性耳下腺炎	4				1			3		8						1	1		1	2	1									

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,
設置定点数 10 ケ所 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~
急性出血性結膜炎										0																			
流行性角結膜炎										0																			

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区○ノロウイルス感染症4例:1歳 男2例、4歳 男、10歳 女
○ヒトメタニューモウイルス1例:0歳4か月 女
中央区○アデノウイルス感染症2例:0歳9か月 女、1歳 女
北 区○アデノウイルス感染症3例:1歳 男1例 女2例
長田区○細菌性腸炎(カンピロバクター)1例:15歳 男

【基幹定点(市内3ヶ所)からの報告】

細菌性髄膜炎1例:35歳 男

【市内の感染症の状況】

○インフルエンザ

今週の定点医療機関におけるインフルエンザ患者数は、1名と少ない状況ですが、5月29日に灘区の小学校でインフルエンザによる学級閉鎖がありました。市内では、インフルエンザA型(AH3型)が多く検出されています。神戸モデル連絡票(※)でも市内学校園からのインフルエンザ患者の複数発生の報告があります。

○溶血性レンサ球菌感染症

定点医療機関からのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者報告数が増えています。例年、春から夏と冬の2回流行する疾患のため、今後注意が必要です。

※ 神戸モデル(感染症早期探知・地域連携システム):地域・学校園・施設・医療機関等と保健所・区との連携強化により

施設から感染症または感染症を疑う事例の発生時に報告をいただいている。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向【検索】](#)

[「I」情報センター」ホームページを開設しています。詳細はこちらをクリック](#)

6月1日~7日は厚生労働省が定めるHIV検査普及週間です。神戸市の後天性免疫不全症候群(HIV/AIDS)の届出数(H27:12例、H28:16例、H29:14例)は、近年横ばいで国と同じ傾向です。届出をもとに医療機関へ聞き取りした結果、他疾患の手術前検査で判明した例や、性感染症を併発している例がありました。また、エイズを発症してからHIV感染が判明する例の報告数減少しない現状があります。神戸市保健所では、HIVのほか、B型肝炎、梅毒、クラミジアの検査を実施しています。検査日によって検査項目が異なりますので、検査可能な日時や検査したい項目から選び、受検してください。また、医療機関においては、梅毒など性感染症の診断をした患者や免疫低下が疑われる患者については、健康保険でのHIV検査の実施を積極的にご検討下さい。

[エイズ検査と相談 | 神戸市HP](#)

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2018年5月31日作成

全数把握対象感染症発生状況 (二類感染症 結核)

結核届出患者数は9人(うち潜在性結核感染症2人)です。

全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	20代	2018年5月19日	2018年5月20日	2018年5月23日	血清型不明(VT2)	分離・同定による病原体の検出(便)	腹痛、血便 水溶性下痢 発熱	不明	渡航歴あり(韓国) 環境保健研究所の検査にてO145と判明
男	20代	2018年5月17日	2018年5月19日	2018年5月23日	血清型不明(VT2)	分離・同定による病原体の検出(便)	腹痛、血便 水溶性下痢	不明	渡航歴あり(ロシア) 環境保健研究所の検査にてO145と判明

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	80代	2018年5月19日	2018年5月19日	2018年5月20日	-	分離・同定による病原体の検出(血液)	ショック・腎不全 肝不全・DIC 急性呼吸窮迫症候群 軟部組織炎	創傷感染	死亡

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	80代	2018年5月16日	2018年5月16日	2018年5月16日	-	分離・同定による病原体の検出(血液) 病原体抗原の検出(イムノクロマト法)	発熱、肺炎 菌血症	不明	ワクチン接種なし

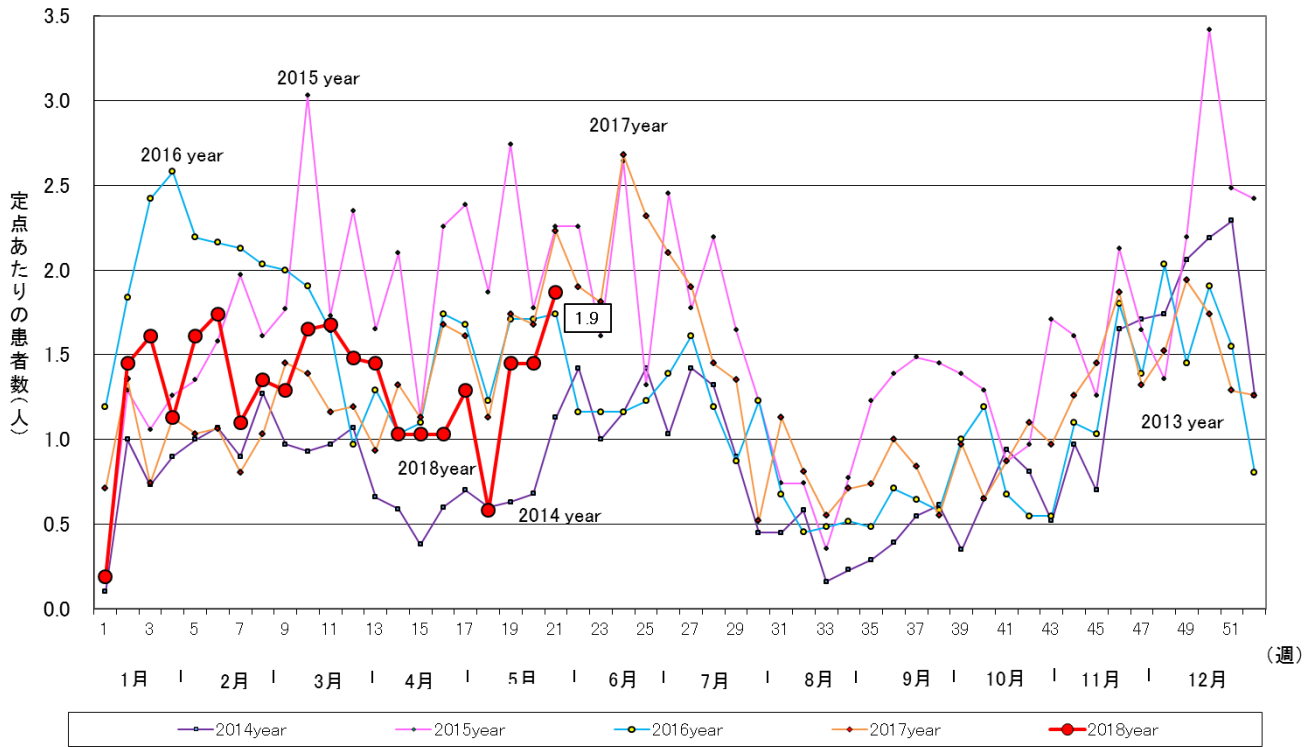
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	30代	2017年秋頃	2018年5月22日	2018年5月22日	晩期顕症梅毒	RPRカードテスト TPHA法	眼症状	不明	-

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
A群ロタウイルス	便	西	4歳3ヶ月男(5/9採取、発熱あり、感染性胃腸炎)
A型インフルエンザウイルス(H3亜型)	鼻腔ぬぐい液	中央	15歳9ヶ月女(5/2採取、39°C、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔ぬぐい液	垂水	13歳男(5/16採取、39.6°C、インフルエンザ、ワクチン未接種)
A型肝炎ウイルス	便	中央	32歳男(5/24採取)
バンコマイシン耐性腸球菌	菌株	東灘	男、51歳、発熱、褥瘡、VanA遺伝子陽性
侵襲性肺炎球菌	菌株	中央	女、64歳、発熱、項部硬直、髄膜炎、血清型:10A ワクチン接種歴:不明

定点あたりのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生状況



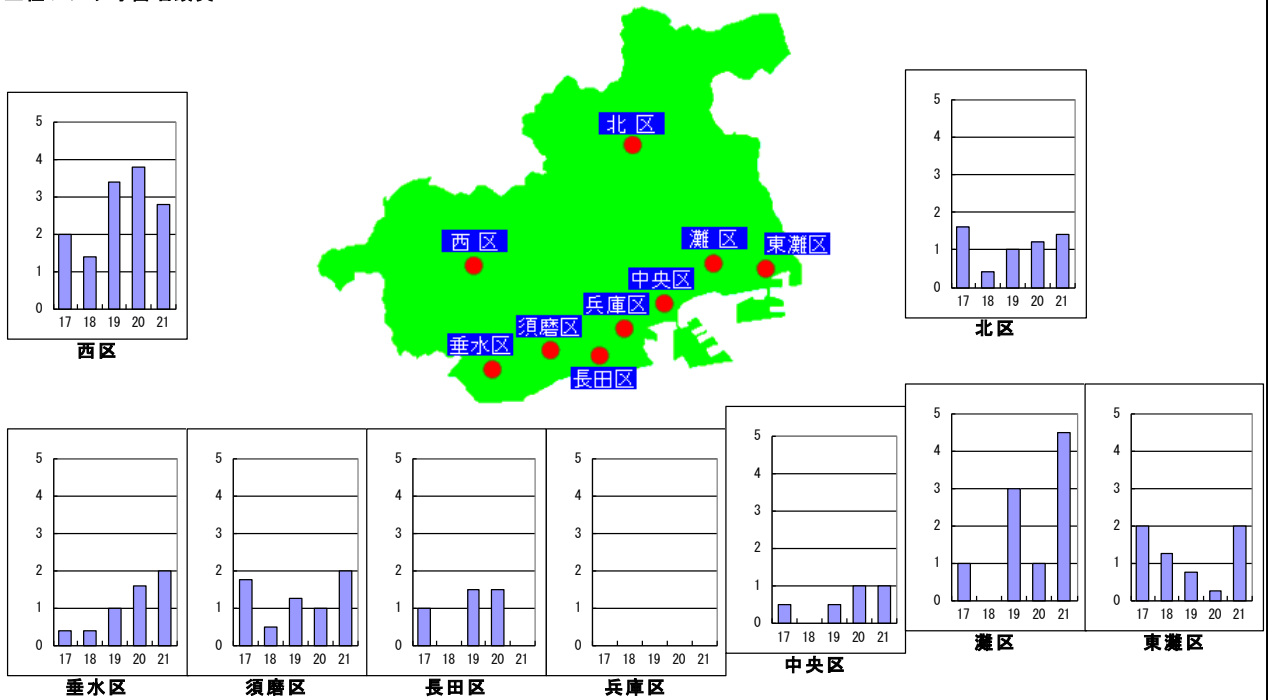
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 17 週 平成30年4月23日

～

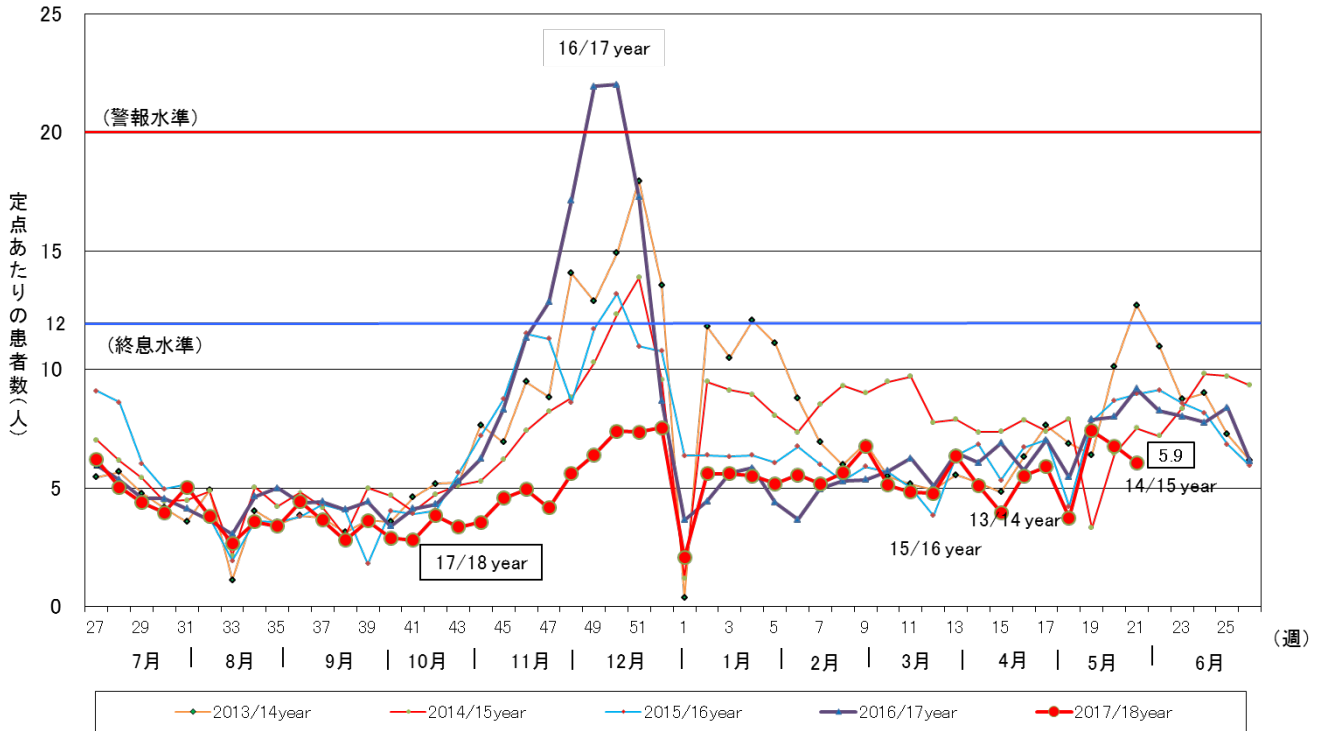
第 21 週 平成30年5月27日

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



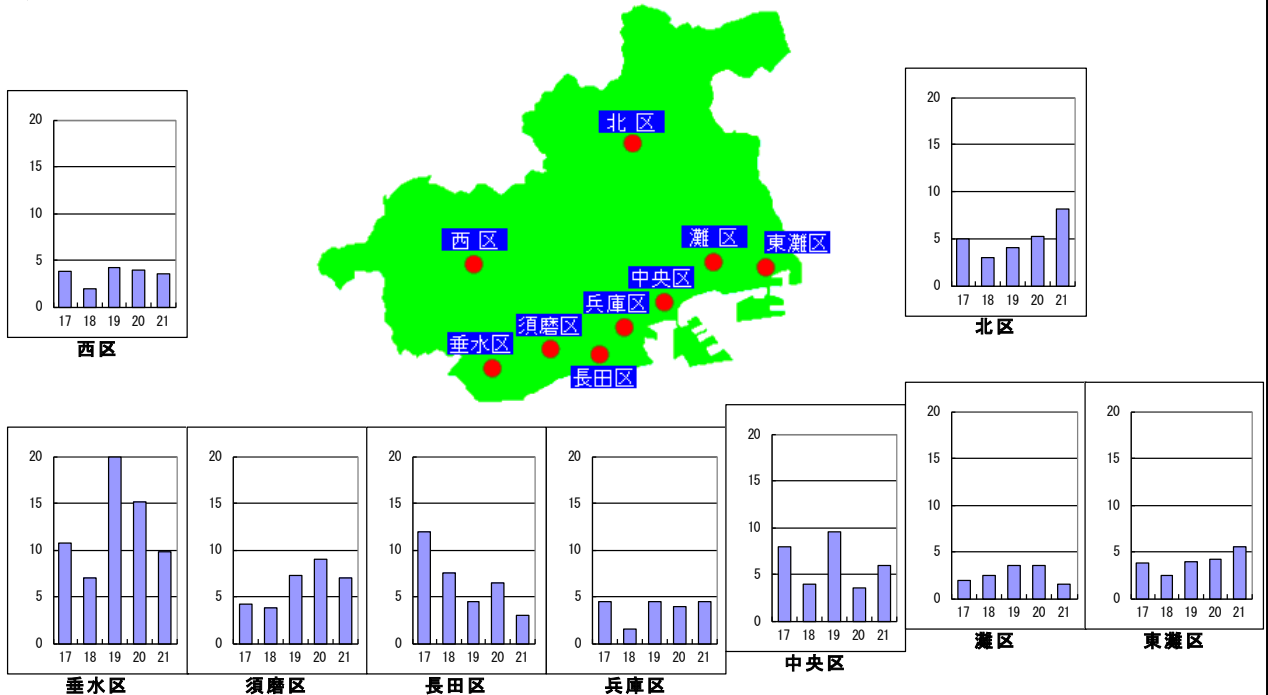
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 17 週 平成30年4月23日

~

第 21 週 平成30年5月27日

感染性胃腸炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。